

**授業概要**

「スポーツ企業」とは、スポーツ用品メーカーやスポーツ小売店、フィットネスクラブ、スポーツイベント会社、スポーツメディアなどのスポーツを製品・サービスとして取り扱う企業のことであり、「スポーツ企業経営」とは、スポーツを製品・サービスとする企業の存続・成長を考えていくことである。本講義では、スポーツを製品・サービスとする企業の存続・成長の方法であるスポーツ企業経営の理論と実態について講義していく。

**授業計画**

第 1 回	ガイダンス、スポーツ企業経営とは
第 2 回	スポーツ企業経営の基本原理
第 3 回	スポーツ企業の製品開発
第 4 回	スポーツ企業の価格戦略
第 5 回	スポーツ企業のプロモーション戦略
第 6 回	スポーツ企業のブランド戦略
第 7 回	スポーツ企業における流通戦略
第 8 回	スポーツ消費者行動
第 9 回	スポーツ企業におけるリレーションシップ・マーケティング
第 10 回	スポーツスポンサーシップ
第 11 回	メディア・リレーションズ
第 12 回	業界研究①（スポーツイベントのマーケティング）
第 13 回	業界研究②（フィットネスクラブのマネジメント）
第 14 回	業界研究③（スポーツツーリズム）
第 15 回	業界研究④（プロスポーツリーグ）
第 16 回	期末試験

**到達目標**

- ・「スポーツ企業経営」とは何なのか事例を交えながら説明できるようになること。
- ・スポーツを製品・サービスとするスポーツ企業と一般企業の違いについて説明できるようになること。
- ・スポーツ企業の経営活動を捉えるための理論フレームワークを習得すること。

**履修上の注意**

- ・本講義では指定座席制度を導入する。後列座席着席への希望は医師の診断書を提出した場合のみ考慮する。前列座席着席への希望は初回講義終了時に教員に申し出ること。
- ・スポーツに関するニュースだけではなく、経済・経営に関わるニュースにも関心を持つこと。
- ・スポーツマネジメント系大学院の進学希望者、スポーツビジネス系企業への就業希望者は自分で積極的に情報を収集し、行動を起こすこと。そのための相談には応じるので遠慮なく相談に来て欲しい。

**予習・復習**

予習はテキストの指定された箇所に通すようにすること。復習はテキスト、配布資料に通すこと。

**評価方法**

- ・授業内課題（リアクションペーパーおよび小レポート） 60%
- ・レポート 10%
- ・期末試験 30%

※ 20 分以内の遅刻は 2 点減点、20 分を超える遅刻は 5 点減点。遅延証明書は 3 回まで考慮する（ただし 60 分を超える遅刻は考慮しない）。許可なきスマートフォンいじりは減点とする。遅刻 4 回ごと（遅延による遅刻を含む）に「遅刻事由説明書」の提出を求める（詳細は初回講義時に説明する）。

**テキスト**

- ・教科書名：スポーツマーケティング入門—理論とケース—（第 2 刷）
- ・著者名：大野貴司
- ・出版社名：三恵社
- ・出版年（ISBN）：2012 年（978-4883617678）